

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 <http://www.j-kana.or.jp/> email: info@j-kana.or.jp

3

March, 2016

vol. 401

Contents

建築探訪...01

会員仕事紹介...03

支部だより...05

旅行記...07

委員会活動報告...09

編集者のつぶやき...10



建築探訪

神奈川県立近代美術館（鎌倉館・本館）

横浜支部 株式会社A&A設計室 雨森 隆子

*設計者、坂倉準三とは

建築に関わる者にとって、今更、坂倉準三を紹介する事もないのだが、坂倉は、東京大学文学部美術史学科に学び、「ゴシック建築」を卒論テーマとし、建築に取りつかれたようだ。建築家を志し、パリで建築を学び、ル・コルビュジェに師事し、モダニズム建築を実践した。渡航も大変であった戦前、坂倉の行動力、覚悟に、驚くばかりだ。1940年に事務所開設、神奈川県庁新庁舎はじめ、美術館、学校など400以上の建築を設計した。

鎌近(カマキン)と親しまれてきた神奈川県立近代美術館(鎌倉館)は、本年2016年1月31日閉館となった。鎌近(カマキン)は1951年11月に誕生以来、64年間、数々の魅力ある企画展が開催され、今回「カマキン最後の展覧会」が開催された。



*美術館誕生について

戦後の荒廃したまちに、人のよりどころとなる文化施設を築きたいと、当時の神奈川県知事内山岩太郎が、美術館を建てさせたと言う。敷地は、鶴岡八幡宮からの借地(2016.3終了)であった。この建物は、参加者指名による設計競技で、当時、建築界における大きな出来事であった。1937年のパリ万博日本館設計の経験がある坂倉準三(坂倉案)が当選する。参加者には、当時気鋭の中堅建築家であった前川國男、吉村順三、谷口吉郎、山下寿郎らであった。



*建物について

- ・敷地面積 4,243.12㎡
- ・延床面積(本館) 1,575㎡
- ・構造 鉄骨造2階建て
- ・施工 馬淵建設(株)
- ・竣工 1951年11月

鶴岡八幡宮境内に建つこの美術館は、日本で最初の公立美術館である。

歴史ある八幡宮の環境に調和した建物として、日本のモダニズム建築の代表的存在で、高く評価されている。

設計者の坂倉は、パリ万博日本館の設計思想を要約して、

1. 平面構成の明快さ
2. 構造の明快さ
3. 素材の自然美の尊重
4. 建物を囲む自然(環境)との調和

という特徴を上げています

(神奈川県立近代美術館ホームページより抜粋)

この美術館にも、この設計思想が活かされ、建物と環境については、特に、配慮されている部分が随所にある。

美術館は、八幡宮を正面に見て、左手、平家池をのぞむ先に、迫り出すように建っている。

緑に包まれるように、池に面し、列柱の並ぶピロティ、シンプルな四角い形状に白い外壁が、印象的である。

このモダンな建物を廻りこむように進むと、エントランスへ迎え入れてくれる。

正面の大きな階段を上がると、左手が入口、中庭を取り囲むような回廊型の美術館である。

中庭から、4方、上部へ見渡すと、コンパクトな美術館に広がりを感じる。

大谷石積の壁には、規則的な空きあり、光と影、風を感じ、何よりその柔らかな風合いに、癒される。また、その空間に、常設されているイサムノグチの「こけし」が、マッチしている。



2階展示室から1階中庭へ降りる階段の軽快さと真鍮の手すり、手すりの曲線など、60年以上経過した建物と思えないデザインに、学ぶところは多い。



2階にある喫茶室の壁一面には、題「女の一生」という、見事な壁画がある。

2003年のリニューアルで、修復され、蘇ったとの事。高い天井に外壁側は、ガラス窓、池を見下ろすバルコニーに続く、癒しの空間として最高であった。

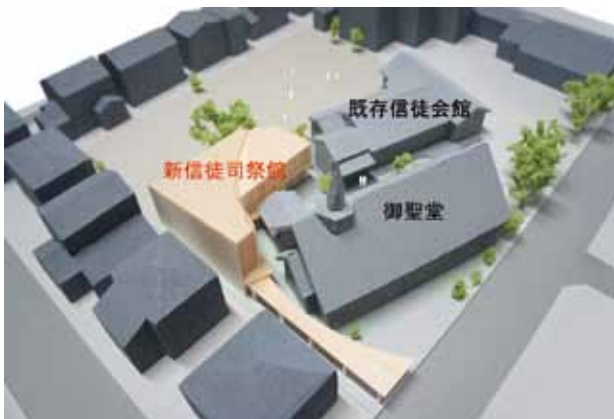


*美術館の今後

保存を求める声が多数あり、県は、本館棟を保存する事を決め、八幡宮に引き継ぐ方向で調整中である。八幡宮側は、文化的な施設としての活用を検討するとの事。活用法について、是非とも、県民はじめ、多くの声に耳を傾け、愛される建物に再生される事を願ってやまない。

カトリック大和教会信徒司祭館

厚木支部 株式会社 小林建築事務所 小林 一博



プロポーザル時イメージ模型



プロポーザル時配置コンセプト



南側からの外観 右手に御聖堂を見る

■計画の端緒

老朽化した司祭館の建替計画は、神奈川県建築士事務所協会を通じて平成25年7月にプロポーザルが公募され、一次書類審査～二次計画案審査～ヒアリングを経て、我々の案が採用されスタートした。

■大和教会の歴史

戦後1952年にスイス出身のカール・フロイラー神父により設計、献堂された赤い屋根と尖塔、正面の十字を模した円形窓が印象的な木造の御聖堂は、地域に寄りそうように建ち教会を訪れる人々をやさしく受け止めてきた。

■やさしい曲線を描く

御聖堂と既存信徒会館に挟まれた中庭は、キリストとマリアの像の元、子供を連れた母親達や、アジアや南米を中心とした様々な国籍の信徒が集いゆったりとした時間が流れる趣のある場となっている。

教会を訪れる人々を受け止め、包み込むようなイメージを持たせた1本の曲線を御聖堂の奥に描いた。

この曲線は車寄せ、主任司祭室、玄関、2階リビングを貫通し、弧を描いた外壁面は南側道路からの司祭アプローチを強く印象付け、建物の象徴的な外観を形成する要素となる。

アクティブな1階の信徒ゾーンと、プライベートな聖域でもある2階の司祭ゾーンは、エントランスで明快に分けられ、内外装は木質と白を基調とした御聖堂の空間を意識している。



曲線を描く壁面と司祭アプローチ空間



プロポーザル時イメージ図



プロポーザル時イメージ模型

建替前の既存司祭館 御聖堂と
近隣民家に囲まれていた既存御聖堂 木のぬくもりと光
に包まれた静謐な空間

南立面図



東立面図



2階リビングダイニング



1階信徒玄関

計画がスタートし建物が完成するまでのあいだ、教会建設委員との打合せ意見交換は回を重ね、建物の使い方を始め、将来的なマスタープラン、予算調整、細部の仕上げ材料及び色彩までその内容は多岐に渡った。

各委員それぞれの思い入れの強さ故、熱を帯びた議論となる場面もたびたびあったが、この建物の主となる鈴木主任司祭の冷静な助言・導きにより全てが適切な方向へと収束して行った。

多くの教会関係者・信者の思いが形となった。



起工式 主任司祭の清めの儀式



祝別式 この日から「聖域」となる

支部だより

県西支部活動報告

県西支部 支部長 長谷川 匡

●よろず塾



県西支部では、業務以外の予備知識を習得し、お客様とのコミュニケーションの一助に成ればと年数回「よろず塾」を開催しています。

今回ご紹介するのは、県西支部会員が設計した茶室にて茶道入門体験をいたしました。

テレビなどでは見たことがあるが実際に体験してみると思った以上に難しく、楽しいことに驚きました。

作法を忘れないうちに定期的で開催しようと計画しています。

●無料耐震相談会



県西支部では2市7町と無料耐震相談会の協定を締結しており各市町の庁舎や施設会館等で定期的に開催をしています。

県西支部の場合は他の支部と異なり、対応する行政が2市8町有る為、支部内に耐震部会を設け、その部会員が相談委員をするシステムとしていま

す。部会員は県西地域内を飛び回り対応をして頂いております。

●新春賀詞交歓会



県西支部では2年前迄、定時総会後の懇親会へ来賓をお招きして親睦を深めて来ましたが、昨年度より新春賀詞交歓会を開催することにいたしました。

当支部の賀詞交歓会は、イベント会場等での開催を避け、地元のレストラン等飲食店で開催する食事会的な方法を取るようにしています。

来賓の方々との距離も近く、より親睦を深めることが出来ていると確信しています。

また、席上では支部の年間活動報告や今後の活動予定などをご来賓の方々、特に行政の方々へPRをして働きかけを行っております。

●今後の活動予定

神事協の幾つかの支部では、既に開催している「しごと展」を県西支部でも今年度中に開催しようと、役員一同で話し合いと会場を探しているところです。

会員に大きな負担の掛からない程度の小規模なもので、作品展示や事務所のPRの場を、会員以外の建築士事務所へ提供し神事協との接点の機会と成れば、お互いに良き関係が築けるのではと期待しています。

最後に県西支部の役員及び会員各位のご協力が有ってこそ、これらの報告が出来ることに感謝もうしあげます。

支部だより

大和綾瀬支部の紹介

大和市は神奈川県中央に位置し人口密度約8600人/k㎡（県内2番目）、地盤が安定した地震に強いベッドタウンです。綾瀬市は大和市に隣接し、古くから大和市と地域が連携する、緑と文化が薫る風光明媚な街です。個性的な支部会員19名のメンバーが地域と連携した活動展開しております。

●大和市耐震促進協議会との連携

平成22年に発足した大和市役所、大和商工会議所と建設5団体で構成する当団体のなかで、耐震診断補強設計施工の方法の学習、研究、普及に協力し、地震に安全な街づくりを推進しております。

●大和市民まつり

祭りが多い大和市の最大のイベントである「大和市民まつり」では住まいの相談コーナーを設け、FMやまと連携し、安心安全な住まい・街づくりをPRしております。



住まいの相談コーナー・会員作品パネル展示



FMやまと リポーターの「カルデア啓子さん」のインタビューに答える

大和綾瀬支部 支部長 相原 聡

●県央ブロック協議会との連携

市内のみならず広域的な活動をするために、海老名支部、厚木支部、座間支部、愛川支部や賛助会と連携し研修会や業務協力を行っております。

27年度は副支部長の神田暁氏が県央ブロック長を務め大和綾瀬支部の連携が大きく深まりました。

●27年度全国大会 茨城県五浦 研修旅行

茨城全国大会では岡倉天心の里「五浦」を訪ねました。



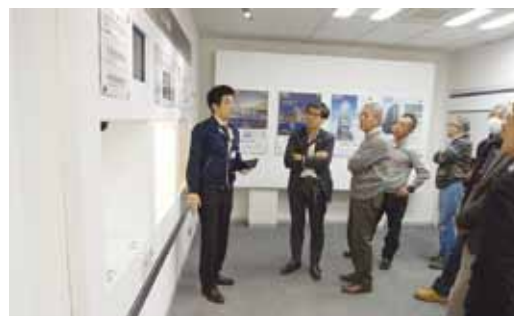
県央ブロック協議会メンバーと五浦観光ホテルに宿泊



再建された六角堂

●25年度三菱電機平塚研修旅行

賛助会員 横浜菱住株式会社のご協力により省エネルギーの住まいづくりの研修をおこないました。



HEMSスマートハウスの見学

旅行記

スタペスト街歩き

おんだ建築事務所 恩田 耕爾

ハンガリーは中欧のオーストリアの東、スロバキアの南に位置します。その首都がブタペストです。街の中心をドナウ川が流れ、街をブダ側とペスト側に分断していて、兩岸を5本の橋が繋いでいます。ドナウ川はその源をドイツにして中欧の国々を流れて、行き着く先は黒海です。川幅も広く、目測では350mはあろうかと思われまます。穏やかな歴史の街ですが、近年そこからニュースが飛び込んできます。シリアからの難民がトルコからボートでギリシャに渡り、そこから中欧諸国を経由してドイツまで行く様が新聞、テレビで最近報道されました。映画「杉原千畝」では、70年前は難民はドイツからポーランドへの流れでした。今は逆です。昨年9月のシリア難民の3歳児のトルコ海岸で打ち上げられた溺死写真は衝撃でした。現地ハンガリー人ガイドさん(過去には日本の浜松の企業で働いていた)の話ではハンガリー政府は入国前に難民の認定のあるものとそうでない人を区別して対応しているとのことでした。国境の通過には難民認定が必要です。ウィーン空港迄のバスの車窓から、難民のテント群と歩行中の群衆を見ました。シリアでの国力の低下による大量の難民発生です。さて、ブタペスト市街はドナウ川が流れ、川の西のブダ側は小高い丘になっていて、そこには、有名な観光名所「漁夫の砦」があり、そこには15世紀にマチャーシュ王によって造られたゴシック様式のマチャーシュ教会がそびえています。

歴代の戴冠式が行われたことから戴冠教会とも呼ばれています。内部はステンドグラスが、美しいです。少し川下に移動すると「ゲレルトの丘」と呼ばれる標高235mの小高い丘にたどり着けます。イタリアから招かれた伝道師ゲルトが初代国王イシュトバーン1世(マジャール人)によってこの丘より川に突き落とされ殉死したことから名がついたとのこと。ここのパノラマポイントからは街の兩岸が一望できます。王宮とか図書館がこの丘の上にあり、バスで坂を下ると有名なくさり橋(セーチェニくさり橋)があります。ここらは温泉も多く、エリザベト橋のたもとにはルタジュ温泉、自由橋のたもとにはゲレルト温泉があります。ここ迄は小高い丘をバスで、午後はペスト側の街歩きをし

した。くさり橋のたもとのホテルから「の」の字廻りで中心部を巡りました。自由広場では昼になり、現地ガイドさん推薦の、ペスト側の郵便貯金局の向いの市場の二階にあるレストランでムール貝のスープと蟹と貝のパエリアを美味しく頂きました。すぐ行くと聖イシュトバーン教会があり、それを右手に眺め、パリの都市計画を模して作られた世界遺産のアンドラーシ通りでのウインドウショッピングを楽しみます。ユダヤ人教会を見たところで、脚も疲労を覚えカフェに入ります。その店は壁一面が落書きが楽しめます。カフェのお姉さんからトラムの乗場方法と運賃を聞き中央市場まで市民の足トラム(路面電車)で行きました。市場ではソーセージ、チーズ、フォアグラが安く買えます。韓国、アジア系の店舗もあり賑やかです。川に沿ってパーティ通り散策は歩行者天国で両側に沢山のお土産物屋さんが並んでいて楽しいです。散策の終点はブルシュマルティ広場に面した有名な200年の歴史あるカフェ・ジェルボーで夕涼みするのもいいです。夜はナイトクルージングでの夜景が美しいです。光が闇によって哀愁をおびます。川面の波が光を放ったり消えたりうごめいています。国会議事堂の上には数十羽の鳥が夜空に舞っています。船上からUFOと間違えた人もいます。船上では日本語ガイドで楽しめます。ハンガリーはマジャール人が多く、人口1500万人の内950万人が居住している(※:マジャール人はウラル山脈の中西部の遊牧民でしたが、9世紀にここへ移住を始めた。)

落ち着いた居心地の良い街です。仕事のお時間がとれた時には是非、訪れてみて！

○●街歩きルート●○

午前：バスにて漁夫の砦、図書館、マチャーシュ教会、ゲルトの丘
午後：徒歩と路面電車による街歩き:くさり橋、自由広場、聖イシュトバーン大聖堂、アンドラーシ通り、ユダヤ人教会、中央市場、ヴァーシイ通り、カフェ(ジェルボー)
夜：ドナウ川クルーズにて国会議事堂等の夜景

※この中欧ツアーでたまたまバス、温泉を共にしたT君が1月の軽井沢スキーバス事故でお亡くなりになりました。ご冥福をお祈り申し上げます。



漁夫の砦と中央の高い尖塔が
マチャーシュ教会



ゲルトの丘からの街の展望
(左ブタ、右ペスト側)



マチャーシュ教会内部
(柱はマジャール模様)



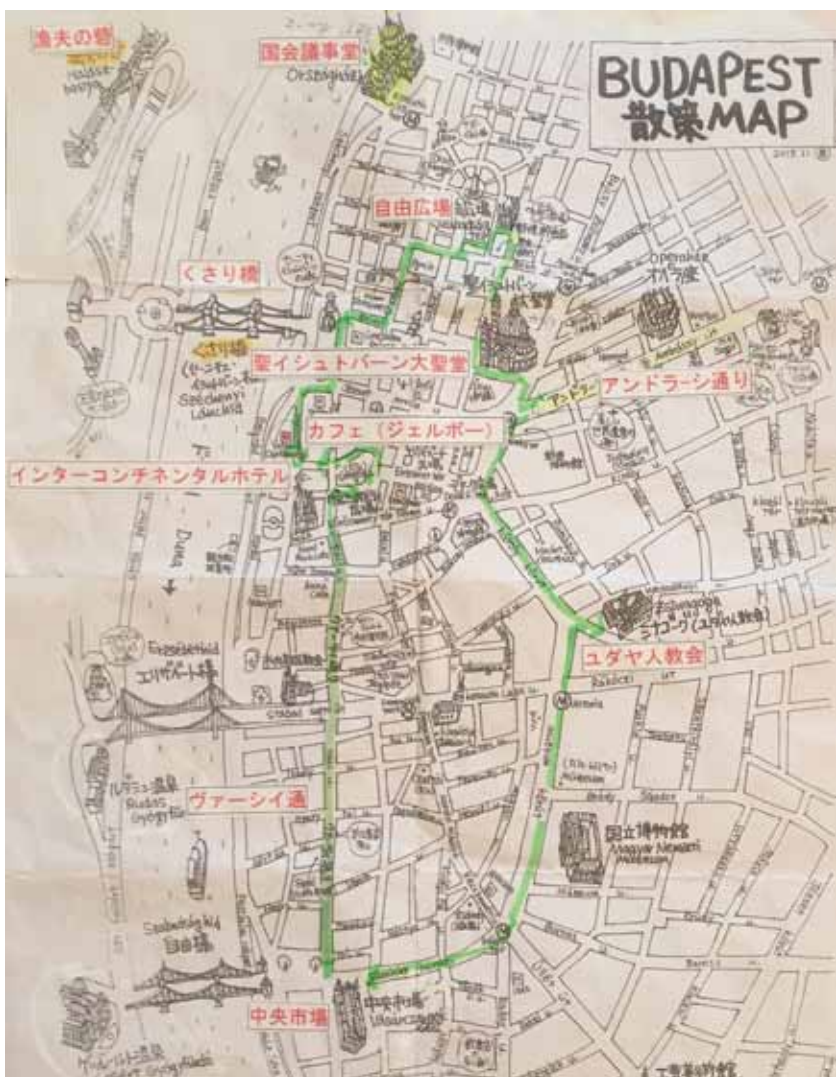
ユダヤ人教会



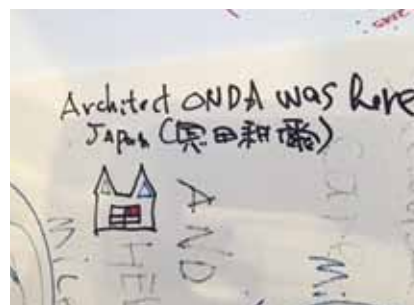
ドナウ川クルーズ くさり橋



中央市場



ブタベスト市街マップ



ユダヤ人教会の前の喫茶店の壁に
書いた落書き



国会議事堂の夜景



橋のたもとのホテルの温泉プール

委員会活動報告

～「10年目を迎え」～

平成17年に「コンペ運営部会」が立ち上がり、平成18年1月18日の神事協賛詞交歓会と同時に開催された30周年式典の場で、神奈川県木材業協同組合連合会（県木連）と業務連携の調印式が行われたところから「住・緑・家」が実質スタートを切りました。

以来10年目を迎え、この間住宅の実績が伸び悩む中で自治会館は8件が既に竣工、現在2件が建設に向け進行中、問い合わせ対応中も現在3件あります。これだけの実績を上げて来たのも、この10年間継続して活動してきた委員の皆様の努力の賜物と、この紙面を借りて御礼申し上げます。



この節目の年にあたり、当委員会は新たなメンバーで会員の皆様の業務支援となるべく更なる実績を上げるために活動を行っています。このコンペシステムを様々な角度から検討し、整理し、見直しをし、新規の取り組みを模索しています。既に今まで、新たなパンフレットの作成、ホームページ見直し、神奈川県内に於ける自治会館補助金制度の調査及び一覧表作成、ジョブリストの作成による実施状況把握、県木連との連携の再取組、見学会の実施、新たな取り組み「コンペ施工者選定システム」の検討、等々を実施してまいりました。

今後も、会員向け「コンペシステムの必勝法」講習会（2月26日）開催、自治会館への採用に向け神奈川県下各行政へ「住・緑・家」周知の営業展開、消費者へのアピールに県木連との新たな連携への試行、などなどを実施してまいりますので、是非注目してください。

「住・緑・家」運営専門委員長 上原 伸一

またこの会員の皆様への業務支援の輪を広げていくために、皆様が住まわれている地域の自治会館建設情報提供等、会員皆様のご協力もよろしくお願い申し上げます。



海老名市浜田自治会館



横浜市大口通本町会館



横浜市大口通本町会館 見学会

新入会員の紹介

1月入会者

川崎支部

関口一級建築士事務所 関口 佐代子
〒216-0006 川崎市宮前区宮前平3-12-51
TEL.044-861-5380 FAX.044-861-5380

鎌倉支部

B-Rデザイン室 島山 鉄太郎
〒247-0061 鎌倉市台1879-4
TEL.0467-47-4731 FAX.0467-47-4734

海老名支部

橘川雅史建築設計事務所 橘川 雅史
〒243-0205 厚木市棚沢308
TEL.046-241-2768 FAX.046-241-2768

2月入会者

横浜支部

株式会社エスオー一級建築士事務所 宗 貴之
〒234-0051 横浜市港南区日野2-22-36
TEL.045-843-7530 FAX.045-843-7531

川崎支部

春葉建築設計事務所 赤川 真理
〒211-0001 川崎市中原上丸子八幡町1495-1-406
TEL.044-567-5471 FAX.044-567-5471

横須賀支部

岡本建築設計室 岡本 祐治
〒238-0024 横須賀市大矢部4-12-10
TEL.046-838-3314 FAX.046-838-3314

相模原支部

飯村慎建築設計 飯村 慎
〒252-0334 相模原市南区若松6-20-11

3月入会者

厚木支部

エルアフィード株式会社一級建築士事務所 奈良 直史
〒227-0055 横浜市青葉区つつじヶ丘6-25
TEL.045-989-3113 FAX.045-989-3114

退会者

横浜支部

輪工房 後藤 かをり
株式会社浜田建築設計事務所 濱田 幸男
都市未来計画株式会社 安積 健介
株式会社ウェルブランドハウス 中居 孝
株式会社まるみハウス建築士事務所 小坂 充

川崎支部

小西構造企画 小西 孝夫

鎌倉支部

石上建築構造設計 石上 保

変更

横浜支部

株式会社白川設計
(事務所名変更)旧)一級建築士事務所株式会社白川設計
アールベイ設計
(所在地変更) 〒247-0009 横浜市栄区鍛冶ヶ谷2-1-2-501
静和建物株式会社二級建築士事務所
(事務所名変更)旧)静和建物株式会社一級建築士事務所

川崎支部

株式会社正興建築設計事務所
(所在地変更) 〒210-0012 川崎市川崎区宮前町8-15パールビル505

茅ヶ崎寒川支部

株式会社瀬川建築工房一級建築士事務所
(事務所名・所在地・TEL・FAX・会員名変更)
旧)有限会社瀬川政夫建築工房二級建築士事務所
〒253-0053 茅ヶ崎市東海岸北2-13-22
TEL.0467-40-5995 FAX.0467-40-5996
瀬川 政仁

厚木支部

株式会社エンラージ設計一級建築士事務所
(所在地変更) 〒243-0013 厚木市泉町7-20
TEL.046-280-5562 FAX.046-280-5563

会 勢

支部名		平成26年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜		264	265	20	19	1
川 崎		105	105	7	7	0
横 須 賀		51	54	4	1	3
湘 南 三 浦		17	16	0	1	-1
藤 沢		25	28	4	1	3
鎌 倉		38	38	3	3	0
茅ヶ崎寒川		19	18	0	1	-1
平 塚		21	21	1	1	0
秦 野		20	18	0	2	-2
伊 勢 原		8	9	1	0	1
大和綾瀬		18	19	2	1	1
厚 木		32	34	2	0	2
座 間		12	13	1	0	1
海 老 名		14	15	1	0	1
愛 川		7	7	0	0	0
相 模 原		76	75	4	5	-1
県 西		42	41	1	2	-1
合 計		769	776	51	44	7
賛 助 会 員		79	77	3	5	-2

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。

※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき



三月になると、ひな祭り
があります。女兒を祝う節句
で、おびなど、めびなが赤い
布地の上に飾られます。建築
の世界でも、これにちなむ語

句があります。よく「ひながた」をつくると言う語句が使われ
ます。これは物件の模型をつくるとか、書式をつくるとか言
う意味で、その他「ハコ物」などと、十分に活用されていな
い建物などに使われます。これも対象が昔の、ひなまつりの
関連かと思われます。また「入れ子」建築などという語句も
最近使われています。「タタキ台」という言葉も、良い案を
作成する前の最初の一案をさします。日本的な仕事のまとめ
方で、多くの建築士の日々の業務に日常的に使われている事
に驚きます。くれぐれも、お屠蘇の白酒で酔わぬように！

【平塚支部 新倉 良一】



かながわ 平成28年3月号 (通号401号)

発行 平成28年3月1日 (奇数月1日発行)
発行人 小林 忠志
発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 第3不二ビル2F
TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

担 当 副 会 長 小渡 佳代子
・ 広報情報委員長 白川 正孝
・ 広報情報副委員長 三村 邦彦 小泉 厚
・ 広報情報委員 雨森 隆子 恩田 耕爾 清田 鈴美子
・ 新倉 良一 小井口 英寿 坪井 教一
・ 杉本 勝郎 神尾 明美
・ 事務局 小林 恵美



今月の表紙

神奈川県立近代美術館 鎌倉館本館

惜しまれながらもこの1月31日に閉館となりました。最後に一目と想い新春明けやらぬ鎌倉を訪れたのですが、分かってはいても冬の平家池は寂しかった。がしかし、知事の英断からか耐震補強を施し保存が決まったとの一報を受けホッとした次第です。次はどのような用途になるのかは未定とのことですが、設計者は美術館として生を与えた事を知っていて欲しいと言わずにはられません。



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association